



かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌



KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

TOPICS ● トピックス

平成30年度 新規採用者入職式

どんどん祭り

CONTENTS ● もくじ

特集	CEO・病院長着任のご挨拶	P.01
TOPICS	平成30年度 新規採用者入職式	P.03
	診療コラム	P.05
	病院★ニュース	P.06
	病院からのお知らせ掲示板	P.06
	まちかど情報	P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

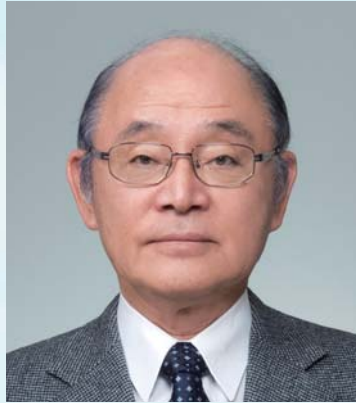
- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。



就任のご挨拶

金沢医科大学氷見市民病院
最高経営責任者

松本 忠美



この度、本年4月1日をもって金沢医科大学氷見市民病院最高経営責任者(CEO)に就任いたしました。竹越襄先生、高島茂樹先生、川上重彦先生の後を引き継ぐ事となり、大変光栄であるとともにその責任の重さに身の引き締まる思いです。金沢医科大学氷見市民病院は氷見市民の命と健康を守るといふ地域医療を担うとともに、大学病院として医学教育も行っているに、大学病院として医学教育も行っていないかなければなりません。本病院が、氷見市民に愛され、信頼される病院、地域医療を学べる病院としてさらに発展するように努力してまいりたいと考えております。

私は1976年に金沢大学医学部を卒業後直ちに金沢大学整形外科教室に入り、その後、同教室の助教授を1990年から1998年まで務めました。その間、1983年から1984年にかけて米国ミネソタ大学整形外科にて関節外科を勉強する機会をいただきました。1999年に金沢医科大学整形外科教室に着任し、退任する2016年までの18年間主任教授を務めております。私の専門は股関節手術ですが、在任中に北陸3県はもとより全国から来られた5000例を超える症例の手術を手掛けてまいりました。2003年から2007年まで金沢医科大学病院の副院長をさせて頂き、診療部長

として医療安全などについて勉強させていただきました。2008年から2014年までの6年間、山下理事長、竹越理事長の下で副理事長を拝命し、大学の経営やランドデザインなどについて取り組みました。また、2014年から2016年までの3年間は、竹越理事長の下で病院長をさせて頂き、病院の管理運営を学ぶ機会を与えて頂きました。このような貴重な経験を生かして金沢医科大学氷見市民病院の発展に寄与したいと考えております。

金沢医科大学氷見市民病院は公設民営化病院としてスタートして11年目となりますが、現在、地域の中核病院に対する医療行政は大変厳しいものがあります。医師、看護師、薬剤師などの医療スタッフ確保の問題、重症度、医療・看護必要度の問題、在宅医療を含む地域医療連携の問題など多くの課題が山積しております。しかし、このような時だからこそ、我々、病院の職員は医療の原点に立ち返り、力を合わせ氷見市民に質の高い親切的な医療を提供していかねばなりません。この病院職員443名にとって働きやすい職場を創っていくことが私の責務だと考えております。

どうか皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。



金沢医科大学水見市民病院
病院長
梅 博久

この度、齋藤人志病院長をお継ぎして、平成30年4月から金沢医科大学水見市民病院病院長に就任いたしました。当院は平成20年4月から病院事業指定管理者として病院の管理運営を担当し、満期20年のうち半ばの10年が経過しました。この間、地域中核病院として診療体制が充実し、医療スタッフもそろってきております。地域医療に直結する救急医療をはじめ各診療科の頑張りや診療は一定の水準を保っており、着実な歩みを達成しているのは喜ばしい限りです。

私は、この3月で39年の金沢医科大学呼吸器内科学での教員生活を終え、新たな立場で仕事を始めることになりました。大学では、医学部長や副学長をはじめとする教学を担当し、病院副院長として診療を担当し、いろいろな課題の解決に努力いたしました。

水見市民病院は着実な成果を挙げていますが、一方で病院の課題も出てきているように思えます。この数年は患者数、病院収入とも伸び悩んできており、医師スタッフが減少しているようです。これらの原因は少しずつ明らかになってきていますが、病院職員が一丸となって問題点を明らかにし、その解決に向かって新たな歩みを始める時期に来ていると思っております。

同時期に着任された松本忠美最高経営責任者（CEO）の指導の下、これから病院の問題点を職員全員で共有し、具体的な解決手段を求めて行きたいと思っております。まずは、大学分院として

水準以上の医療を引き続き提供することが重要です。内視鏡下外科手術をはじめとする高度外科治療をますます充実すること、PET-CTの導入を前提としてがんの診断を確実に行うとともに、分子標的治療を中心として化学療法を着実にける環境を整備したいと思っております。このような診断、治療手法の充実によって、かねてからの目標であった「院内がんセンター」設立に向けて踏み張り時であると思っております。

地域医療の中核として、最寄りの診療所、病院との連携を密にして、隙間ない医療を供給していくことが肝要であることは論を待ちません。病院開設以来、総合診療科は僻地巡回診療に当たっており、大きな成果と高い外部評価を得ています。都市部の病院では成し得ない当病院での特性をさらに充実し、地域密着型の診療を継続することは大いに病院の評価を高めるであろうことを確信しております。

このような病院の課題を乗り越えていくためには、職員全体の努力と協力が重要です。皆様力を得て、少しでもいい病院になるよう取り組みたいと思っております。やりがいのある立場を与えていただいた大学法人の皆様へ感謝し、着実な成果でその期待にお答えできるよう歩みを始めております。

今後とも、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

金沢医科大学氷見市民病院

平成30年度

新入職員入職式

平成30年4月2日(月)午後2時から新入職員入職式が氷見市民病院6階多目的ホールで行われました。今年度の入職者は医師1名、薬剤師1名、看護師14名、視能訓練士1名、臨床検査技師2名、管理栄養士2名、臨床工学技士1名、理学療法士2名、社会福祉士1名、事務員1名、技能員1名の計27名でした。

入職式には松本忠美最高経営責任者(CEO)ならびに梅博久病院長をはじめ多数の病院幹部職員列席のもと行われました。松本最高経営責任者から新入職員を代表し、薬剤師の西田紗妃さんに採用辞令が交付されました。松本最高経営責任者から「氷見市民の命と健康を守る仕事に、誇りとプライドを持って従事して欲しい。」と式辞が述べられました。続いて梅病院長から「患者さん、スタッフに思いやりを持ち、良い医療を提供できる職員になってほしい。」と訓示がなされました。最後に初期臨床研修医の畑島和さんが「金沢医科大学氷見市民病院の一員として、自己研鑽に努め職務に精励することを誓います。」と宣誓を行い、入職式を閉会しました。引き続き、4月5日まで新入職員オリエンテーションが行われ、病院職員として必要な知識と心構えを習得しました。



平成30年度 新任医師名簿



整形外科

助教

沼田 優平



内分・代謝科

助教

高木 晋



呼吸器内科

講師

中川 研



皮膚科

准教授

竹田 公信



臨床研修センター

研修医

畑島 和



皮膚科

医員

望月 弘和



整形外科

医員

藤田 浩二



腎臓内科

医員

原口 貴敏

● 新入職員オリエンテーション

平成30年度

新入職員 オリエンテーション

4月2日(月)

- ① 金沢医科大学氷見市民病院の概要及び病院職員としての心構えについて

4月3日(火)

- ① 各部門紹介
- ② 病院設備と防災・防犯設備について
- ③ 職業人としての健康管理
- ④ 個人情報保護について

4月4日(水)

- ① 各部門紹介
- ② 地域医療連携について
- ③ 看護部りんごステーションの紹介
- ④ 新入職員接遇研修
- ⑤ 職場における防火と防災について
(氷見市消防本部)

4月5日(木)

- ① 感染防止の基礎知識について
- ② 医療安全の基礎知識について
- ③ BLS研修



医療従事者 13名



看護部 14名



病院見学をさせて頂いた時に、明るい雰囲気のある環境の良い病院だと思い、入職を希望しました。入職してからまだ数日ですが、職員同士の挨拶の活発さに毎日驚いています。

今はまだわからないことも多く、不安もありますが、色々なことを丁寧に教えて下さる先輩が多く、とても嬉しく思います。

患者さんに安心して療養生を送ってもらえる環境づくりの一端を担っていきけるようまた、患者さんへの優しさも忘れず、いつでも頼ってもらえる看護師となるよう努力していきたいと思えます。



4階西病棟 看護師
沙 恵利奈さん

診療コラム

短時間通所リハビリテーションを開設

平成30年4月1日より、新たな事業として短時間通所リハビリテーションを開設しました。短時間通所リハビリテーションは、個別リハビリテーションと自主トレーニングに特化したサービスです。理学療法士等の



リハビリ専門職が個々の利用者さんに合ったプログラムを作成します。週1〜2回の90分程度の短時間となり、入浴や食事、送迎はありませんが病院併設のため安心してご利用いただけます。

対象は、介護保険で要支援または要介護の認定を受けている方、主治医からリハビリを勧められている方、体力の衰えに不安のある方などです。

現在は、機能回復を望まれる方や病院外来でのリハビリが終了になった方、体力をつけたい方、外出の機会を作りたい方なども当サービスのご利用をいただいています。

サービス内容は、血圧・脈拍な

どの健康状態を確認し、理学療法などの専門的リハビリ、物理療法、自主トレーニングの指導を行い、ご自宅でも継続的に行えるように支援しています。また、住宅改修を含めた環境設定の検討や、福祉用具活用の提案や選定など、必要に応じてご家族への介助法の指導も行っています。

ご自宅での生活環境や生活スタイルに合わせたきめ細やかな指導により、利用者さんの残存した能力を最大限に引き出し、これからも豊かな生活を目標に、できる限り自立した日常生活を営めるよう支援していきたくと思います。

当リハビリテーション部では、

急性期、回復期リハのほか、介護保険での通所リハビリ（6〜7時間）、訪問リハビリも行っております。患者さんの病状に応じた様々なサービスを組み合わせ受けすることで、在宅での健やかな生活を維持できると思います。短時間通所リハビリテーションも、その選択肢の一つとしてご考慮いただき、ご利用を検討される場合には、ぜひお気軽にご相談下さい。

（リハビリテーション部

三浦 健洋）



災害総合訓練・火災総合訓練

平成29年度の災害訓練は、平成30年3月20日(火)に災害総合訓練、3月22日(木)に火災総合訓練を実施しました。



災害総合訓練は、1次訓練から3次訓練として3つの訓練を行っており、1次訓練は、院内15箇所に出火場所を想定し、各部署で迅速な初期消火が行えるよう消火器、補助散水栓の場所や取扱いを確認しました。2次訓練では、氷見市消防署と連携し、実際に補助散水栓からの放水や棚の下敷きとなり逃げ遅れとなった職員を消防隊が救出する訓練など本番さながらの訓練となりました。3次訓練は、地震等により市内の負傷者が多数来院される事を想定し、トリアージ訓練を行いました。正面玄関エントランスホールにトリアージエリアを設置し、ウォークインによる来院に加え、救急車で次々に搬送される模擬患者を医師、看護師及び事務職員で構成されるトリアージチームがトリアージを行い、重症度、緊急度別に次の救護所に搬送するまでの動きを確認しました。

火災総合訓練は、消防署職員から消火器の正しい使い方や学ぶ消火器訓練及び時間外の火災訓練を行います。

病院からのお知らせ掲示板

●平成30年度 「健康づくり教室」

市民の皆さんを対象に、「さまざまな病気」について、予防法や診断・治療法など、専門医師が解りやすく解説し、「予防医学・健康回復・増進」に役立てていただくことを目的に「健康づくり教室」を開催します。医療に関する知識や病気について医師とお話する機会として、お気軽にご参加ください。

○開催要領

- *期 間 平成30年5月～11月(毎月1回 原則 第3土曜日)
- *時 間 14:00～15:30
- *場 所 金沢医科大学氷見市民病院 6階多目的ホール
- *募集受講生 100名程度(予定)

〈受講料〉
無料

日程	演題	講師
平成30年 5月19日(土)	—開講式— 眠りと健康～眠りにまつわる病気～	病院長 呼吸器内科教授 梶 博久
6月16日(土)	カビによる皮膚病 ～ここまでわかった！カビの感染ルート～	皮膚科准教授 竹田 公信
7月21日(土)	からだの中からアンチエイジングを目指して ～血管若返り術～	地域医療学・ 総合診療科教授 笠巻 祐二
9月15日(土)	花粉症 2018 ～舌下免疫療法～	耳鼻いんこう科講師 大浦 一子
10月20日(土)	おしっこのトラブル～夜間頻尿・尿失禁～	泌尿器科教授 森山 学
11月17日(土)	超スーパーロボット“人間” —閉講式—	最高経営責任者 整形外科教授 松本 忠美

- 受講生募集について*講師、演題等は変更となる場合があります。
- 受講申し込み方法(下記の①～②のいずれかでお申込みください)
 - ①金沢医科大学氷見市民病院に下記の申込書を郵送またはFAXして下さい
 - ②病院総務課へ電話等でお申込みください
- 申込書送付先・お問い合わせ先
金沢医科大学氷見市民病院 総務課 電話:0766-74-1900(内線:2022)
住所:〒935-8531氷見市鞍川1130番地 FAX:0766-74-1901



ました。火災訓練では、時間外の職員が少ない時間帯に4階東病棟からの出火を想定し、初期消火や避難誘導、安全防護、応急救護、連絡網による呼集訓練を行い、各部署の出火時の対応について確認を行いました。実際に災害が起きれば、訓練のように想定通りに

行きません。しかしながら、訓練を通じて職員一人ひとりが、基本の動きを身に付け、被害が拡大しないためにはどのように行動すればよいかを考え、防火・防災意識を高めていくことで、さらに安全安心の病院となるよう取り組んでいます。

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関を受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

まちかど情報

縁結びおせっかいさん

突然ですが、「おせっかい」と聞いて皆さんはどんなことを思い浮かべるでしょうか？

ここ氷見市にはそんな世話好きな方々がいらっしやるのをご存知ですか？ その名も「縁結びおせっかいさん」

1990年代から、少子化や既婚率の低下などが問題視され、「草食男子」や「婚活」という言葉が生まれました。

氷見市では平成27年12月に「それいけ！ひみ婚♥」が氷見市主体で始まり、独身男女を引き合わせる仲人役として、現在20名の「縁結びおせっかいさん」が活動されています。

雇用の不安定化や低所得、出会いが少ないといわれる時代の中で、人生経験豊富なおせっかいさんがお互いの好みに合う相手を探し、引き合わせてくれます。

これまでに何組ものカップルが誕生し、その内2組がめでたくご結婚されました。

現在在籍されているおせっかいさんは、30～70歳代の男女(男女比4:6)で世代が幅広く、独身男女の相談に様々な視点で応えてもらえるのではないのでしょうか。

氷見市では今年度は、3回程度婚活イベントを検討しているそうで、結婚を考えている方、新たな出会いを求めている方、立ち止まっているあなた、おせっかいされてこぼれ落ちるほどの幸せをその手で掴みましょう♥ みなさんの素敵なご縁をお祈りします。



○ 開学記念日休診案内 ○

平成30年6月1日(金)は金沢医科大学開学記念日のため、外来診療を休診とさせていただきます。なお、救急患者さんについては、救急外来にて受診ください。

表紙について

「ごんごん祭り／ゴンゴン鐘つき大会」

江戸時代初期に起こった大日照りによる被害から雨乞いを行ったところ、見事雨が降り、上日寺にある鐘つき堂の鐘を何度も打ち鳴らして喜びを分かち合ったことが祭りの名前の由来とされています。

その祭りの中で、力自慢たちが50kgの松の丸太を担ぎ、1分間に何回鐘をつけるか競い合うイベントが4/18開催されました。写真の男性は、当院職員であり、50回も鐘を鳴らしたそうで、驚きです。一般の部・女性の部・子供の部に分かれており、一般の部以外は30kgの丸太を担ぐとのことで、毎年県内外から多くの方が参加されているそうです。

編集後記

6年ぶりの豪雪を乗り越え、皆が早く春が来てほしい事を知っていたかのように例年より早く桜が開花しました。さて、「春暁を覚えず」という漢語がありますが、温かい日が続く私もなかなか布団の中から出られない日があります。フレッシュな新入職員の見本となるように気持ちを切り替えていかなければならないと思う次第です。

かけはし春号編集委員 中央放射線部 朴木 拓也

■ 広報誌「かけはし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけはし」となることを願って命名されました。